

日本エネルギー環境教育学会第18回全国大会（滋賀大会）企画

1. 開催場所：滋賀大学教育学部附属中学校（〒520-0817 滋賀県大津市昭和町10番3号）
2. 開催日時：令和6年（2024年）8月4日（日）～6日（火）
3. 開催テーマ：環境先進県発「三方よし」のエネルギー環境教育
4. 主催・後援
主催：日本エネルギー環境教育学会
後援：文部科学省、経済産業省、環境省、日本エネルギー学会、エネルギー・資源学会、電気学会、
日本原子力学会、環境科学会、電気事業連合会、関西原子力懇談会、滋賀県、滋賀県教育委員会、
大津市、大津市教育委員会
5. プログラム
8月4日（日）
11：30～12：30 理事会
13：00～13：20 開会行事（会長挨拶、実行委員長挨拶、表彰式）
13：30～14：30 基調講演「廃棄物・循環資源とエネルギーとの関わり－脱炭素社会の構築に向けて」
講師：大下 和徹（京都大学准教授）
14：45～16：45 シンポジウム 「ネットゼロ社会実現のためのエネルギー環境教育のあり方」
コーディネーター：山本 照久（兵庫教育大学客員准教授）
パネリスト：大下 和徹（京都大学准教授）
：来田 博美（滋賀県地球温暖化防止活動推進センター職員）：滋賀県での取組
：山野 元気（八尾市立高安西小学校教頭）：教育行政での取組
：八日市律子（京都市立大淀中学校・二条中学校教諭）：学校での取組
18：00～20：00 情報交換会（THE CALENDAR：大津駅前）

8月5日（月）
10：00～17：40 口頭発表・・・4会場（1セッション3～5件）、オンライン（1セッション4件）
展示ブース・・・2会場（4日午後～口頭発表終了時）

8月6日（火）エクスカージョン（各コース40人まで、**先着順**とします。）
○琵琶湖コース（9:00～16:00）：琵琶湖博物館（入館料当日徴収・昼食は各自館内） ※大津駅集合
パナソニック株式会社 草津工場 H2 KIBOU FIELD
※南草津駅解散
（世界初の水素を活用した再生可能エネルギー100%に向けた実証工場）

○蹴上コース（10:00～15:30）：蹴上水力発電所、琵琶湖疎水博物館、インクライン、
南禅寺（昼食 3,300円 事前振込キャンセル不可）※現地集合・解散
※ヒールの高い靴、サンダル等のご遠慮ください。

6. 口頭発表

発表時間：発表 15 分、質疑 5 分(合計 20 分)

発表分野：授業実践、普及活動（企業等の実践含む）、カリキュラム・教材開発、調査・評価、
地層処分、学校としての実践等

発表方法：対面での発表をメインとし、オンライン発表のみの会場も設ける

※非会員の方は本大会実行委員会から依頼された方のみ発表が可能です。事前にご連絡ください。

7. 申込方法

次の URL から申し込んでください。 <https://forms.gle/UuNwh43whY2kxZrg9>

発表申込期間：2024年5月6日（月）～6月28日（金）

発表原稿提出期間：2024年5月6日（月）～6月28日（金）

参加申込受付期間：2024年5月6日（月）～7月 5日（金）

8. 参加費 ※高校生以下は無料（情報交換会への参加は不可）

参加費（資料代含む）	7月5日以前	7月5日以降
一般会員	4,000 円	5,000 円
団体会員	4,000 円	5,000 円
学生	2,000 円	
一般非会員	5,000 円	7,000 円
非会員の滋賀県内勤務の教員・教育関係者（資料代含む）	2,000 円	
論文集の追加購入	2,000 円	

○情報交換会は大津駅すぐの場所で開催し、参加費は実費の 5,000 円です。事前参加申し込みをお願いします。なお、費用も事前徴収します。

9. 問い合わせ： 詳細は学会ホームページ <https://www.jaeed.jp/> に今後随時掲載する。

(1) 大会事務局 日本エネルギー環境教育学会第 18 回全国大会実行委員会 E-mail: jaeed18th@gmail.com

〒520-0817 滋賀県大津市昭和町 10 番 3 号

電話 077-527-5255

(2) 学会事務局 日本エネルギー環境教育学会事務局 菅野貴広

〒237-0066 神奈川県横須賀市湘南鷹取 2-17-1

E-mail: jaeed@jaeed.jp

名札の着用

会場では、受付でお渡しした名札を着用してください。

土足禁止

会場は土足禁止となっています。

スリッパを用意していますので、履き替えていただき、靴は空いている靴箱に入れてください。

上履き用の靴を持参いただいてもかまいません。

敷地内禁煙

敷地内は禁煙となっており、喫煙場所はありません。周辺にもありません。

口頭発表について

1. 発表方法

(1) 会場に用意されているパソコンを利用する場合

①使用パソコン

Windows 系のパソコンを用意します。PowerPoint または PDF を使用ください。

(Windows11 Pro PowerPoint 2016)

②使用媒体

USB メモリまたは CD でデータを用意ください。

③パソコンへのコピー

発表番号-名前.拡張子 (例: A1①-滋賀太郎.pptx) のファイル名で、デスクトップにコピーしてください。(発表終了後、データは消去します。)

(2) パソコンを持ち込む場合

①大型スクリーンに HDMI 接続で映像を出力します。

HDMI 端子がないパソコンの場合は、変換コネクタをご用意ください。

②セッション開始時までに動作確認をお願いします。

※プロジェクタより音声の出力が可能です。スピーカーを準備することもできます。

スピーカー他、必要な機器などがあれば事務局に連絡してください。

プログラム

令和6年8月4日（日）

会場：滋賀大学教育学部附属中学校 多目的教室（M会場）
〒520-0817 滋賀県大津市昭和町10番3号

13:00-13:20 開会行事（会長挨拶、実行委員長挨拶、表彰式：学会賞）

13:30-14:30 基調講演

「廃棄物・循環資源とエネルギーとの関わり－脱炭素社会の構築に向けて」
講師 大下 和徹 京都大学准教授

14:45-16:45 シンポジウム「ネットゼロ社会実現のためのエネルギー環境教育のあり方」
コーディネーター：山本 照久（兵庫教育大学客員准教授）

パネリストからの取組紹介

「CO2 ネットゼロ社会づくりに向けた滋賀県におけるエネルギー教育について」
来田 博美（滋賀県地球温暖化防止活動推進センター職員）
「ネットゼロ社会実現のための教育行政の取組」
山野 元気（八尾市立高安西小学校教頭）
「ネットゼロ社会実現のための中学校での取組」
八日市律子（京都市立大淀中学校・二条中学校教諭）

パネルディスカッション

パネリスト：大下 和徹（基調講演講師）
：来田 博美（滋賀県での取組）
：山野 元気（教育行政での取組）
：八日市律子（学校での取組）

18:00-20:00 情報交換会 会場：THE CALENDAR（JR 大津駅前）
滋賀県大津市春日町1-3 ビエラ大津

令和6年8月5日(月)

会場：滋賀大学教育学部附属中学校（A～D会場）

〒520-0817 滋賀県大津市昭和町10番3号

【口頭発表のプログラムの見方】

会場名、発表分野、座長の順で記載。

A1-①：最初の英字は会場

数字はセッション順で1は午前、2は午後前半、3は午後後半を示す

○数字は、セッション内の発表順

発表者には○印を名前の前に記載、連名の場合の所属は、最初と同じ所属の名前の後に記載、時間は、発表時間15分、質疑応答時間5分の計20分を1人当たりの時間として記載

A会場 授業実践① 【座長】山下宏文（京都教育大学名誉教授）

A1-① 大学生に対するエネルギー環境教育の実践

1000- ○大磯眞一（INSS）

1020

A1-② クリアランス製品設置により深まる放射線理解

1020- ○壺井宏泰（兵庫県立舞子高等学校）

1040

A1-③ 中学校理科におけるWebアプリAAS“Argument Aggregation System”を用いた協働的に学ぶ授業の実践

1040- ～地層処分を事例として～

1100 ○田中誉也（磐田市立向陽中学校）、山岡武邦（滋賀大学大学院教育学研究科）
萱野貴広（特定非営利活動法人静岡STEAM教育推進センター）

A1-④ エネルギー環境教育を進めるにあたっての教科連携のあり方

1100- — JAEEE 実践委員会第4回ワークショップ報告 —

1120 ○葛生 伸（福井大）、山本照久（兵庫教育大）、菅野英人（札幌市立丘珠小）、
間庭正弘（電気新聞）

A1-⑤ 実践報告：エネルギー環境教育の推進と放射線教育の課題について

1120- ○青木久美子（ESK代表 世田谷区立千歳中学校）、内藤理恵（世田谷区立駒

1140 沢中学校）、瀧淵 岳（東京都立鷺宮高等学校）

昼食（各種委員会）

A 会場 学校としての実践 【座長】 葛生 伸（福井大学）

A2-① エネルギー教育支援事業としての加古川中学校の取組

1320- ○山本照久（兵庫教育大学）

1340

A2-② エネルギー・環境問題を主体的・対話的に考える

1340- - I C T を活用してエネルギー・環境問題を考える-

1400 ○八日市律子（京都市立大淀中学校）

A2-③ 現代的諸課題を探究課題とした中学校理科授業の提案

1400- ○土屋善之（金谷中学校）

1420

A2-④ ZES「ネット・ゼロ・エネルギー・スクール」の試み

1420- ○川上慶次郎（大阪府立箕面東高等学校）

1440

休憩

A 会場 授業実践② 【座長】 安藤雅之（常葉大学）

A3-① 「指導の個別化」に活用できるスマートハウス学習動画の提案

1500- 武山侑加（宮城県伊具高等学校）、○菅原正則（宮城教育大学）

1520

A3-② 小学校におけるエネルギー教育のための教員向け研修教材の制作

1520- ○岡本牧子（琉球大学）

1540

A3-③ 次世代エネルギーパークとエネルギー関連施設を活用した地方型エネルギー

1540- 環境教育・ESD 展開の検討

1600 ○萩原 豪（高崎商科大学）

A3-④ 外部講師を活用した理科教員養成における地層処分の授業実践

1600- ○畑中敏伸（東邦大学理学部）

1620

休憩

B会場 教材・カリキュラム開発 【座長】菅野 英人（北海道大学エネルギー教育研究会）

- B1-① 中学校技術科「社会の発展とエネルギー変換の技術」における
1000- EV(電気自動車)を題材とした教材開発
1020 ○小八重 智史(宮崎大学), 宮崎 優一(応其小), 小泉 敬信(加納中),
藤本 登(長崎大学)
- B1-② 教員の視察体験に基づく高等学校理科における動画教材の開発とその効果
1020- ○奥村仁一（静岡市立清水桜が丘高等学校）,
1040 中澤祐介（静岡大学教育学部附属浜松中学校）, 安藤雅之（常葉大学）,
萱野貴広（特定非営利活動法人静岡 STEAM 教育推進センター）
- B1-③ 教員の視察体験に基づく中学校理科における動画教材の開発とその効果
1040- ○中澤祐介（静岡大学教育学部附属浜松中学校）,
1100 奥村仁一（静岡市立清水桜が丘高等学校）, 安藤雅之（常葉大学）,
萱野貴広（特定非営利活動法人静岡 STEAM 教育推進センター）
- B1-④ 「便利さ」の相対性からエネルギー利用について考える小学校社会科歴史
1100- 学習
1120 ○萩原浩司（皇學館大学）
- B1-⑤ 子どものくらしに合わせた教材を考える
1120- ○平野 江美（奈良女子大学附属小学校）
1140

昼食（各種委員会）

B会場 授業実践③ 【座長】山野 元気（八尾市立高安西小学校）

- B2-① これまでのエネルギー環境教育の実践
1320- ○川村康文（東京理科大学）
1340

- B2-② 文系学生を対象としたゴミ問題としての放射性廃棄物処理の授業
 1340- ○橘 淳治（神戸学院大学）
 1400
- B2-③ 島嶼特性から考える日本のエネルギー環境教育の方向性
 1400- -南大東島における小中学校での授業実践を事例として-
 1420 ○山岡武邦（滋賀大学），清水洋一（琉球大学名誉教授），
 安藤雅之（常葉大学）
- B2-④ 中学校数学科における家庭用太陽光発電の発電量・売電量データを活用した
 1420- 授業の開発と実践
 1440 ○苗代峻平（滋賀大学大学院 教育実践力開発コース），山岡武邦（滋賀大学）

休憩

B会場 授業実践④ 【座長】萱野貴広（特定非営利活動法人静岡 STEAM 教育推進センター）

- B3-① エネルギーの歌「あなたに届け！エネルギー」の開発
 1500- ~歌を通してエネルギーミックスを学ぶ~
 1520 ○山野 元気（八尾市立高安西小学校），○松原 由佳（八尾市教育センター）
- B3-② 小学校家庭科におけるエネルギー環境教育
 1520- -6年生「夏をすずしくさわやかに」の授業実践-
 1540 ○平岡信之（京都教育大学附属桃山小学校）
- B3-③ 探究するエネルギー学習のために「学びのエンジン」を育成するカリキュラム・マネジメント
 1540-
 1600 ○河野 卓也（滋賀大学教育学部附属中学校）

C会場 地層処分① 【座長】栢野彰秀（島根大学教育学部）

- C1-① 原子力学会春の年会 SNW シンポジウム結果の概説
1000- 「地層処分事業の理解を進めるためには－学校教育の面から考える－」
1020 ○松永一郎(日本原子力学会シニアネットワーク連絡会:SNW),
羽澄大介(名古屋市立西前田小学校)
- C1-② NUMO「地層処分事業の理解に向けた自主企画事業」
1020- 愛知県教育関係者主催 研修会・見学会
1040 ○羽澄大介(名古屋市立西前田小学校/日本原子力学会シニアネットワーク
連絡会), 松永一郎(日本原子力学会シニアネットワーク連絡会)
- C1-③ 「大学生の立場から関わるエネルギー環境教育の実践と課題」
1040- ○今泉友里(桜美林大学教育探究科学群),
1100 ○森夕乃(慶應義塾大学総合政策学部)
- C1-④ 教科横断型授業を軸とした「地層処分」の授業実践と課題
1100- ○浅井佑記範(福井南高等学校), 今泉友里(桜美林大学教育探究科学群),
1120 森夕乃(慶應義塾大学総合政策学部)
- C1-⑤ 地層処分に関する次世代層の認知拡大に向けた出前授業の取組み及びICT
1120- の活用について
1140 ○大森 麗(原子力発電環境整備機構)

昼食(各種委員会)

C会場 授業実践⑤ 【座長】畑中敏伸（東邦大学）

- C2-① 新しい情報活用能力の育成を目指した小学校社会科情報産業学習
1320- 「情報通信機器と環境負荷の関係に着目して」
1340 ○内海勝也(池田市立石橋南小学校)
- C2-② 放射線をめぐる用語・単位の一考察
1340- 「中学理科授業実践の過程から」
1400 ○秦浩之(三重中学校), 川田博基(三重高等学校),
平賀伸夫(青山学院大学), 杉崎隆(中部電力株), 中西達軌(中部電力株)
小西圭吾(中部電力株)

C2-③ 地域の自然環境保全と開発の問題を考える授業実践

1400- ○小野寺 隆（釧路市立鶴野小学校）

1420

C2-④ 中学校理科の3年生における「科学的な根拠に基づいて、正解のない問題に
1420- 対峙する資質・能力を育成する」授業実践

1440 ○八木大治（市立札幌開成中等教育学校）、
森山正樹（札幌市立あやめ野中学校）

休憩

C会場 オンライン 【座長】山岡武邦（滋賀大学）

C3-① 小・中学校におけるIchigoJamによる計測・制御のプログラミング出前授業

1500- ○加藤 進（三重大学伊賀研究拠点）

1520

C3-② 環境教育分野に関わるオーストラリアの絵本についての研究

1520- -0 から3歳児を対象とした環境絵本の中のエネルギーの記述について-

1540 ○中村俊哉（常葉大学）

C3-③ 幼児期のエネルギー環境教育における実証的研究(2)

1540- -オーストラリア「cool.org」の「wind energy」を活用して-

1600 ○中村俊哉（常葉大学）

C3-④ 地域特性および環境保全を考慮したエネルギー教育について

1600- ○飯野直子（熊本大学）

1620

D会場 普及・啓発 【座長】出口 憲（常葉大学教育学部）

D1-① 環境・エネルギーに係る次世代教育支援活動

1000- ○高橋 達, ○池田 龍子（日本原子力発電(株) 敦賀事業本部立地・地域共生部）

1020 ○尾形 祐子, 関口 豪之, 佐藤 綾子（日本原子力発電(株) 東海事業本部 地域共生部）, 工藤 まり（日本原子力発電(株) 地域共生・広報室）

D1-② 体験を重視したエネルギー環境教育教材の開発

1020- ○若松巧倫（ケニス株式会社）

1040

D1-③ 検証！北陸地域のカーボンニュートラル

1040- ○大野 豊（美浜町立美浜西小学校）

1100

D1-④ 中学校・高校用体験プログラムの大規模校向けアレンジについて

1100- -大規模校の生徒一人ひとりにも体験の実感を届けるために-

1120 ○澤田雄輝, 今井めぐみ, 小澤長裕, 小鍛治優, 橋場隆

（美浜町エネルギー環境教育体験館）

D1-⑤ プログラミング教材を活用したエネルギー教育の実施に向けて

1120- ○手塚宏樹（電気事業連合会）, 小形好弘（電気事業連合会）

1140

昼食（各種委員会）

D会場 授業実践⑤ 【座長】藤本 登（長崎大学）

- D2-① 島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程における放射線教育(19)
1320- - 取り組み13年間・20回の口頭発表のふりかえり -
1340 ○栢野彰秀（島根大学教育学部），森健一郎（北海道教育大学釧路校）
大山朋江,野崎朝之,宮下健太,江角啓(島根大学教育学部附属義務教育学校
後期課程, 山陰エネルギー環境教育研究会), 園山裕之(島根県教育センタ
ー, 山陰エネルギー環境教育研究会), 高橋里美（山陰エネルギー環境教育
研究会）
- D2-② 島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程における放射線教育(20)
1340- - 理科と社会科がコラボした高レベル放射性廃棄物を取り扱う授業・社会科
1400 - における授業実践報告 -
○江角啓,大山朋江,野崎朝之,宮下健太(島根大学教育学部附属義務教育学校
後期課程, 山陰エネルギー環境教育研究会), 園山裕之(島根県教育センタ
ー, 山陰エネルギー環境教育研究会), 高橋里美（山陰エネルギー環境教育
研究会）, 森健一郎（北海道教育大学釧路校）, 栢野彰秀（島根大学教育学
部）
- D2-③ 島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程における放射線教育（21）
1400- - 理科と社会科がコラボした高レベル放射性廃棄物を取り扱う授業の授業
1420 実践報告 -
○大山朋江,江角啓,野崎朝之,宮下健太(島根大学教育学部附属義務教育学校
後期課程, 山陰エネルギー環境教育研究会), 園山裕之(島根県教育センタ
ー, 山陰エネルギー環境教育研究会), 高橋里美（山陰エネルギー環境教育
研究会）, 森健一郎（北海道教育大学釧路校）, 栢野彰秀（島根大学教育学
部）
- D2-④ 島根大学教育学部附属義務教育学校後期課程における放射線教育(22)
1420- - 理科と社会が連携した高レベル放射性廃棄物を取り扱う授業の授業評価 -
1440 ○森健一郎（北海道教育大学釧路校）, 栢野彰秀（島根大学教育学部）,
大山朋江,江角啓,野崎朝之,宮下健太(島根大学教育学部附属義務教育学校
後期課程, 山陰エネルギー環境教育研究会), 園山裕之(島根県教育センタ
ー, 山陰エネルギー環境教育研究会), 高橋里美（山陰エネルギー環境教育
研究会）